

第 26 回全国障害者スポーツ大会「日本のひなた宮崎 障スポ」リハーサル大会 フライングディスク競技実施要領

1 競技規則

令和 9（2027）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 競技は、全て競技役員の指示により進行する。
- (2) 競技は、主催者が用意した公式用具により行う。

3 服装等

- (1) 競技を行う時は、競技用の服装（運動しやすい服装等）とし、靴はスパイクが付いていない運動靴を着用する。
- (2) 番号布（ゼッケン）は、主催者が交付したものを競技用服装の上衣の胸部及び背部に付ける。

4 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、各組競技終了後に順次行い、各競技の組ごとに 1 位から 3 位までの選手にメダルを授与する。

5 受付・招集

- (1) 選手は競技会場到着後、選手受付所において選手ごとに受付を行う。
- (2) 選手招集所は、競技会場内に設ける。
- (3) 招集は、その組の競技開始予定時刻 20 分前に開始し、10 分前に完了する。
- (4) 選手は、招集完了時刻までに選手招集所に集合し、競技役員の点呼を受ける。招集時刻に遅れた者は棄権とみなす。

6 介助者

- (1) 介助者として競技エリア内への入場を希望する者は、あらかじめ主催者の許可を得なければならない。許可を受けた者に限り競技エリア内に入場することができる。
- (2) 介助者申請をする者は、以下の項目を理解した上で申請するものとする。
 - ア 介助者は、スパイクが付いていない運動靴を着用する。

イ 介助者は、競技役員の指示に従うものとし、競技エリア内では競技者の競技上有利になるような助言等をしてはならない。また、競技エリア内での写真撮影及び通信機器の使用を禁止する。

(3) ビブスは選手解散所で返却すること。

7 その他

- (1) 大会当日のディスクを使用した練習は、練習会場に限る。練習会場では安全に留意し、係員の指示に従って行うものとする。
- (2) 練習用ディスクは、主催者が用意する。
- (3) 競技場内への入退場は、競技役員の指示により行う。
- (4) 競技及び表彰の終了した選手は、競技役員又は競技補助員が解散所まで誘導し、解散する。
- (5) 競技場内へは、選手、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員、手話・要約筆記ボランティアおよびあらかじめ許可された介助者、報道関係者及び視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (6) 原則として、雨天であっても競技実施とするため、雨具、防寒具等は各自で準備するものとする。
- (7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。
- (8) 競技に関する不明な点は競技本部に、その他不明な点は実施本部に問い合わせる。